

【連載・県立高校の今】 第1回 頻出用語解説

県教育庁企画管理部教育政策課高校改革推進室

1 連載開始にあたって

今年度、県立高校の今についてお伝えする記事を連載させていただくことになった。

1年を通じ、令和6年度より新たに学科やコース等を設置する学校の特色や魅力を発信する記事を掲載する予定であるが、初回では県立高校の今を知る上で、頻出する用語を解説し、今後の連載に繋げたい。

2 用語解説

(1) 課程

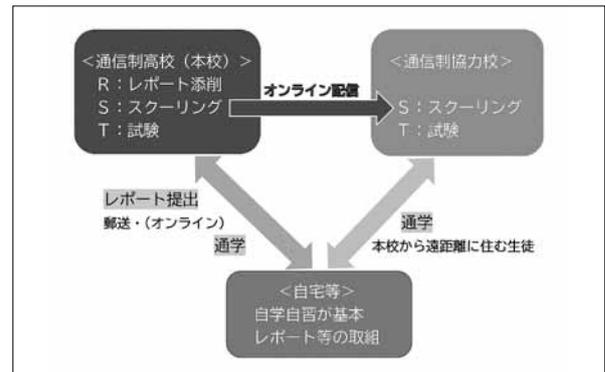
ここでは定時制と通信制を取り上げる。

定時制は通常1日4時間授業で4年間かけて卒業に必要な単位を修得する課程である。現在では夜間だけでなく昼間のニーズも増えており、本県では午前部・午後部・夜間部からなる「三部制定時制」を3校で設置している。

定時制では通信制課程の併修や0時間目授業の活用などにより卒業に必要な単位を3年間で修得する「三修制」という制度があるが、「三部制定時制」では自校内で他部の授業を履修することができるのが大きな特徴である。

本県唯一の県立通信制高校である千葉大宮高校では、入学者選抜・転入学試験・編入学試験を複数回実施し、「いつでも、どこでも、だれでも学べる学校」として、きめ細かい指導を行い、生徒は自分に合ったペースで学習できる。生徒は千葉大宮高校で行われる日、月、火の都合の良い曜日のスクーリングに出席するが、千葉大宮高校から遠距離に居住してい

る生徒の負担軽減につなげるため、通信制協力校制度を利用して、通信制協力校でスクーリングや定期試験を受けることができる。



<<参考>>本県における通信制教育

(2) 学科・コース・学び

各学校には、様々な学科が設置されており、大きく分けると「普通科」「専門学科」「総合学科」の三つに分類される。

普通科は普通教育を主とする学科であり、主に普通教育に関する各教科による教育活動を行う。なお、学校教育法施行規則の改正により、普通教育を主とする学科として、先述の普通科のほか、学際領域学科、地域社会学科、その他普通科を令和4年度より設置できるようになっている。

一方、専門学科では、専門科目を3年間で25単位以上（卒業に必要な単位数の約3分の1）履修することで、より高度で専門的な教育を行う。

総合学科では、生徒が自らの興味・関心や進路希望に応じて主体的に科目を選択できる。入学年次に履修する「産業社会と人間」という科目において、生徒は自己の将来の生き方

や進路について主体的に考え、2年次以降は「系列」と呼ばれる多様な科目群の中から自由に科目を選択し、それぞれの目指す進路に向かっていく。

生徒募集は学科単位で行われるが、本県では入学後に専門的な学びを選択して受講できるよう、様々な「コース」を設置している。県教委が設置したコースの他に、学校独自のものもある。コースの学びの形態は学校ごとに異なり、選択授業の一部として展開している場合や、放課後や週休日、長期休業中などに特別授業として実施する場合がある。

このほか、「観光の学び」、「環境の学び」、「防災の学び」などを導入している学校では、大学・研究機関や地元企業、地元自治体と連携した実践的・体験的な教育活動を教科横断的に展開している。この取組は本県独自のものである。

(3)社会のニーズに対応した教育

課程や学科といった枠組みの他に、社会の様々なニーズに対応した教育も行っている。

①単位制高校

単位制高校とは、学年による教育課程の区分がなく、生徒が自らの興味・関心や進路希望等に応じて履修する科目を選択でき、修得単位数の合計が卒業に必要な単位数を満たせば卒業できるシステムの高校である。

本県では、生徒一人一人の能力・適性や進路希望等に応じた教育の充実などを目的に、全ての定時制、通信制及び一部の全日制に単位制を取り入れている。

②中高一貫教育校

中高一貫教育校は、生徒や保護者が6年間の一貫した教育課程や学習環境の下で学ぶ機会を選択できるようにすることで、中等教育の多様化を推進し、生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を目指す。

県内の中高一貫教育校は「併設型」と「連携型」の二つに分類される。

併設型は6年間の一貫教育の中で独自の特色ある教育を実践し、生徒は主体的に学習に取り組む姿勢が身につく、個性や能力の伸長が図られる。連携型は連携先の中学校との間で、授業や生徒会・部活動等で定期的に生徒や教職員と交流することで、6年間を通して生徒の成長に寄り添った教育を実践する。

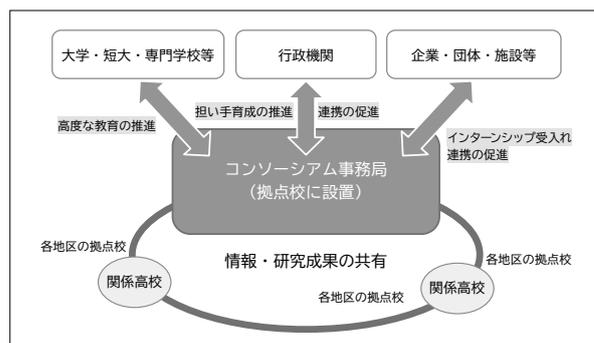
③地域連携アクティブスクール

地域連携アクティブスクールとは、地域の教育力を活用し、自立した社会人の育成を目指す新しいタイプの学校として、本県が独自に設置している学校である。

学ぶ意欲に応える学習指導である「学び直し」や、地域との連携・協働により職業観や勤労観を育む「実践的なキャリア教育」、「教育相談体制」など、生徒一人一人に応じた指導体制により、中途退学者の減少や出席率の改善、進路決定率の向上などの成果をあげている。

④コンソーシアム

産官学が相互に連携し、互いに力を合わせて目的を達成しようとする組織。本県では、千葉県の高校における教育の質を高めるため、工業と農業のコンソーシアムを設置しており、令和6年度には新たに福祉分野のコンソーシアムを設置する予定である。



<<参考>>本県におけるコンソーシアム